



# CIF JAPAN

NEWSLETTER No. 54  
<https://cif-japan.com/>



[cifjapan08@gmail.com](mailto:cifjapan08@gmail.com)

## Council of International Fellowship Japan

発行人：NPO 法人 CIF ジャパン理事長 坂岡隆司  
 編集人：加納光子 発行日 2025年4月1日  
 事務局：〒607-8216  
 京都市山科区勧修寺東出町 75 からしだね館  
**Tel. 075-574-2800**  
**Fax. 075-574-0025**

	目次 卷頭言	坂岡隆司	1 頁	
	CIF INTERNATIONAL の動き	NL 編集部	2 頁	
	コラム	坂岡隆司	3 頁	
	インバウンドと CIF	藤原望美	3 頁	

## 卷頭言

JUST PEACE

世界全体が幸福にならなければ…

理事長 坂岡隆司

(1987年 クリーブランド)

CIF ジャパンの発足は1986年。NPO 法人化されたのが2011年4月、ちょうど東日本大震災の年でした。発足から39年、NPO になってからでも14年がたちます。

そもそも始まりは、第2次大戦のナチから米国に逃れたオーレンドルフ博士によって始められた CIP です。博士は戦争の反省とともに、平和は人と人が個人的に知り合うことから始まるとの信念のもと、異文化交流を盛んにし、相互理解を深めることが大切だとして、対人サービスや青少年育成の分野のワーカーや専門家を集めてアメリカ各地に研修の場を作ったのでした。これが CIP です。1956年だったそうです。日本からも 1962 年以来、130 名以上が参加しました。その OB、OG たちが中心になって 1960 年につくられたのが国際 CIF で、現在 40 か所余りの国や地域に支部があります。支部は無くてもコンタクトパーソンという形でその国の窓口を担っている方々がいます。CIF が出来てからでももう 65 年になります。私も 1987 年に参加しましたが、とても良い経験になりました。

さて、わが CIF ジャパンですが、NPO にしたのには一つの目的がありました。日本でも何とか交換プログラムをやろうということでした。当時の竹内理事長の尽力で、2015 年 10 月に第1回日本プログラムが開催されました。参

加者は、オランダ、フィンランド、スウェーデンから 3 名。その後2回目を 2017 年に開催。参加者はエストニア、オランダ、アメリカ、タイの 4 名。いずれもホームステイを経験していただき、同志社大学をはじめ数か所の実習先施設の協力をいただき、成功裡に終えることが出来ました。第3回目を 2020 年に計画していたのですが、コロナ禍により中止となり、その後「可能性を探る」状態のまま現在に至っています。

昨今の世界情勢を見ても、本当に混とんとした時代になっていました。対立分断、敵対、攻撃、差別が進み、自己（自分）第一、未来よりも現在の利益優先の思想が流行っています。こんな時代だからこそ、異文化に生きるお互いを知りあい、認め合う草の根の活動がより一層大事になってきているのだと思います。

「世界が全体に幸福にならないうちは、個人の幸福はありません」と宮沢賢治は言いました。（『農民芸術概論綱要』）。「Just Peace」という言葉も聞いたことがあります。

他者を犠牲にして真の平和は無い、ということでしょう。相互理解と個人の尊重です。私たち CIF ジャパンの活動は、ささやかでも、目指しているものは決して小さくないと思います。



## CIF INTERNATIONAL の動き

### IPEP (国際プロフェッショナル・エクスチェンジ・プログラム)

2025 年については以下のように発表されています。おそらく 2026 年もこのような実施形態に近くなるのではないかと思われますので、ご参考までに掲載いたします。

国	日程	期間	締切り	言語	費用	人数
AUSTRIA	5/9-25	17 日	12/15/2024	英語	200 Euros	6
FINLAND	5/1-25	25 日	12/1/2024	英語	no fee	5-6
FRANCE	9/23 - 10/18	24 日	1/15/2025	仏語	no fee	3-6
GERMANY	6/13-29	2 週	11/15/2024	英語	no fee	4-6
HELLAS	5/24-6/6	2 週	1/30/2025	英語	400 Euros	5
ISRAEL	5/4-18	2 週	1/31/2025	英語	350 Euros	2-3
ITALY	9/20 - 10/5	2 週	3/1/2025	英語	300 Euros	up to 4
NEPAL	11/26-12/16	3 週	9/15/2025	英語	500 Euros	3-5
NETHERLANDS	3/1-15	2 週	9/1/2024	英語	395 E	6
SWEDEN	4/25-5/24	1 月	11/15/2024	英語	no fee	4-6
SWITZERLAND	3/11-28	18 日	10/10/2024	英語	400 Swiss Francs	4-8
TURKEY	4/18-5/4	17 日	1/15/2025	英語	450 Euros	up to 6

### ✧ IPEP が提供する機会

- ソーシャルワークの実践を観察し、議論し、可能であれば参加する機会
- アイデア、価値観、経験を、同様の配置にある多国籍の仲間の専門家グループと共有する機会
- 地元の家族と一緒に生活し、彼らの文化や生活様式を知る機会

### ✧ 参加資格

- ソーシャルワーク、社会福祉、または福祉分野/関連分野の教育的背景を持ち、これらの分野で少なくとも 2 年間の専門的な経験を持っていること
- IPEP プログラムの言語を用いることができるこ

## カンファレンス

### 開催:

2025 年 11 月 9 日から 13 日までインドで

変化する世界における国際関係:  
ソーシャルワークの前進

### 会議内容

- 就任式
- 専門家による講演、ワークショップ、パラレルセッション、インドおよび外国の代表者による論文発表
- パーティー
- ソーシャルワーク組織への訪問
- 総会

以上、

**CIF インターナショナル**  
<https://cifinternational.com/programs>

のホームページより抜粋要約

詳しくは上記の CIF インターナショナルのホームページをご覧いただか、または CIF ジャパン事務局までお問い合わせください。

## コラム

**親交を深めました！！**

**坂岡隆司（1987年 クリーブランド）**



CIFスイスのメンバー、Marisa Tejo Luondさんとご主人が観光で来日、CIFジャパンにコンタクトしてござりましたので、京都訪問中の11月2日、坂岡が面会しました。2025年3月のスイスプログラムには8名の参加者を受け入れること。ご本人は、ファミリーケア分野のソーシャルワーカー。CIFジャパンの皆さんによろしくのことでした。夫妻は京都の他、奈良、大阪、沖縄などをひと月ほどかけて巡り帰国されました。

### 今、思っていること・感じること

**インバウンドと CIF**

**藤原望美（2024年 フィンランド）**

2月23~25日まで上京し、友人と旧交を温めて参りました。23日は天皇誕生日、24日は振替休日、25日は単なる平日です。連休は新幹線が混むだろうな、くらいは想像していましたが、上京して改めて驚きがたくさんあり

ました。当然ながら東京駅はじめ、ほとんどの駅でロッカーが満杯。手荷物預かり所には長蛇の列。ロッカーを使えるのは事前に予約していたのみ。私は1日あたり3箇所訪問したので、荷物をガラガラと引いて、行く先々でスーツケースを預けるようにしました。新幹線の改札を出入札するにもインバウンドの方々が特大のスーツケースを扱いながら出れきれないでウロウロするのを見たり、同様に登りのエスカレーターに登ろうとして荷物ごと落っこちてきたり…それを連れの方々が口々に助言しているようですが（言葉が分からず）うまくいかないのを見ながら、自分の新幹線に間に合わないので迂回して、目指す場所に移動することが複数回ありました。京都を訪問した時の同じ言葉が頭をよぎりました。すなわち「オーバーツーリズム」です。

海外の方が「もう一度訪問したい国」のNo.1に日本が選ばれ、「もう一度訪れたい街」に東京が5位に選ばれています。CIFのプログラムで出会ったスペインからの参加者や、ホストファミリーでお世話になった方が訪日への強い希望を持っておられることを知っている身としては、——おそらく今年、お迎えすることになりますが——このような場所にお連れするのは気が引けます。彼らの行きたい場所には日本人も希望する確率が高いので、余計に大混雑が起きるのです。

オーバーツーリズムについて、専門家のお話を聞きましたところ、いくつかのポイントがあります。

- ①文化観光ばかりに集中し、自然観光への分散が足りない、また自然観光地での受け入れ態勢が不足していること
- ②日程の分散が不十分なこと。365日のうち土日休日の100日程度しか日本人には休みがないため、そこに集中してしまうこと。休みを分散するには政治の力も必要であること。
- ③観光産業における人手不足。非正規雇用も多いため、低収入では人材が定着せず、常に新人を迎えて教育する必要があること。

などなど課題も多いようです。

今年の夏から秋にかけて、昨年IPEPでお世話になった方々をお迎えするなら、自分の手の内で可能な自然観光を中心としてプログラムを組み、私がアテンドする時には平日の休みを駆使してお連れすること。などでしょうか。

インバウンドがいくら増えても、日本人のわたしたちとすぐに友だちになれるか、といえばそうではないことは皆さんご存知の通りです。数年前まで、同じアパートに住んできたアメリカ人が語ってくれたのは、「数年にわたって日本で働いていて日本人の友達はできない」という悩みがあることでした。

数週間の旅行でも、数年の就労でも日本人と友と呼

べる関係を作ることができない、、、そのことにも考えさせられました。

ただ CIF に所属している私たちには、この緩やかなつながりの中で、友と呼べる人と繋がっていくことはできると思います。今年、または今後、ホスト国の人である友を迎える時には、またお知らせいたします。皆様の地域でお勧めの観光スポットがあれば、情報提供のご協力を賜ることができれば幸いです。

## CIF-JAPAN 総会のお知らせ

日時: 2025年6月28日(土)  
13:00~14:00  
会場: 法人事務所(からしだね館)  
京都市山科区勧修寺東出町75  
実施方法: オンライン(ZOOM)

万障お繰り合わせの上、ぜひご参加ください。  
ご案内は後日資料と共にお送りいたします。



春うらら・・・近くの公園で

### 《会費納入のお願い》 年会費 3,000円

**口座名義:** 特定非営利活動法人  
CIFジャパン

#### 他金融機関から

【店名】 四四八 (読み ヨンヨンハチ)  
【店番】 448  
【預金種目】 普通預金  
【口座番号】 5451973

#### 郵便局から

【記号】 14400  
【番号】 54519731  
【名前】 トクヒ シーアイエフジャパン

#### 郵便振替

【記号と番号】 00900-4-0326750  
【加入者】 特定非営利活動法人 CIF ジャパン  
をご利用ください。

### 《編集後記》

ニュースレター第54号をお送りします。  
今回はご寄稿が少なくて紙面が寂しくなりました。  
発行の方法を再考する必要があるかもしれません。

ニュースレターに関してご意見がありましたら下記アドレスまでご連絡ください。

**<ニュースレター編集部>**  
[cifjapannews2022k@gmail.com](mailto:cifjapannews2022k@gmail.com)

CIF ジャパンの活動や IPEP に関するお問い合わせは、CIF-ジャパン事務局の下記アドレスに、メールまたは電話でお問合せください。

**<CIF-JAPAN 事務局>**  
[cifjapan08@gmail.com](mailto:cifjapan08@gmail.com)  
Tel. 075-574-2800

#### 《CIF-URL》

**<CIF ジャパン>**  
<https://cif-japan.com>



**<CIF インternational>**  
<https://cifinternational.com/programs>



[加納光子]